

観光・ブランディング シンポジウムin北海道

～ 2030年に向け、北海道のミライを語る ～

日時 2019年8月9日(金) 13:00～17:00 (開場12:30)

場所 札幌グランドホテル グランドホール

北海道札幌市中央区北1条西4丁目 <https://www.grand1934.com/location/>

2020年の訪日外国人旅行者数を4,000万人、北海道は500万人と政府目標が掲げられ、インバウンドの拡大は、北海道の社会・経済にも大きなインパクトを与えています。

今後、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、2025年大阪・関西万博が予定され、世界から日本への注目が集まるなか、ここ北海道でも、本年9月にラグビーワールドカップ2019日本大会が札幌で、10月にはG20観光大臣会合が倶知安で開催が予定されています。また、欧米豪に訴求力のある体験型観光のメッカとなるべく、「アドベンチャートラベル世界サミット」の北海道誘致(2021年秋開催)にも力を注いでいるところです。

さらに、2030年に向けて、北海道新幹線札幌延伸、冬季オリンピック・パラリンピック招致も盛り上がりを見せるなか、北海道の強みを最大限に活かしていくためにも、未来を見据えた観光戦略として、世界で通用するブランディングを行い、世界に発信していくことが重要です。

北海道における観光が、一過性ではなく持続可能な形で繁栄するために、「世界に選ばれる観光デスティネーションとしてのブランド化」の重要性をテーマに、ブランディングの第一人者を講師に迎えて、世界最先端の動向を共有するとともに、観光を通じた北海道の今後を考察します。

シンポジウム概要

観光をはじめ幅広い分野で、官民を問わず不可欠かつ重要な要素である「ブランディング」をテーマに、「ブランドとは何か」、「DMO (Destination Management/Marketing Organization)はどうか」、「世界レベルでの観光デスティネーションとなるにはどうすべきか」というさまざまな課題について、各分野の専門家が、先進事例や、背景にある理念を紹介します。世界最大のブランディング専門会社であるインターブランド社によるオープンな講演は北海道初であり、この機会に、ブランディングの重要性を確認し、北海道の未来について展望します。

プログラム

13:00-13:05

開会挨拶: **宿利 正史** 運輸総合研究所会長

13:05-13:20

来賓挨拶: **鈴木 直道** 北海道知事
大高 豪太 北海道運輸局長
堰八 義博 北海道観光振興機構会長

基調講演

① **13:20-14:10**

『何故「いまさら"ブランディング"とは?」なのか?』

並木 将仁 株式会社インターブランド・ジャパン
代表取締役社長兼CEO

② **14:10-14:40**

「集客できるデスティネーションのためのブランディングとは
 - ディズニー・リゾートと海外DMOの事例をもとに -」

山本 さとみ 株式会社ダブルシックス・マーケティング
代表取締役、元オランダ観光局日本代表

14:40-15:00 コーヒーブレイク

パネルディスカッション

15:00-16:30

(モデレーター) **山内 弘隆** 運輸総合研究所所長

(パネリスト) **堰八 義博** 北海道観光振興機構会長

並木 将仁 株式会社インターブランド・ジャパン
代表取締役社長兼CEO

山本 さとみ 株式会社ダブルシックス・マーケティング
代表取締役、元オランダ観光局日本代表

16:30-17:00 質疑応答

17:00

閉会挨拶: **佐藤 善信** 運輸総合研究所理事長

※挨拶者、講師及び講演内容は都合により変更される可能性があります。

主催 一般財団法人 運輸総合研究所

協力 北海道運輸局、北海道開発局、北海道経済産業局、北海道、札幌市、北海道経済連合会、(一社)北海道商工会議所連合会、北海道経済同友会、(公社)北海道観光振興機構、(公財)札幌国際プラザ、北海道旅客鉄道株式会社

後援 日本経済新聞社、北海道新聞社、時事通信社、観光経済新聞社

お問い合わせ:

一般財団法人 運輸総合研究所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目18番19号 虎ノ門マリビル

tel 03-5470-8415 FAX 03-5470-8419

E-mail: collo@jterc.or.jp



【開会挨拶・主催者】

Masafumi Shukuri
宿利 正史

一般財団法人 運輸総合研究所 会長

1974年東京大学法学部卒、運輸省(現:国土交通省)入省。運輸大臣秘書官、航空局次長、総括審議官、自動車交通局長、総合政策局長、官房長、国土交通審議官、事務次官等を歴任。2018年6月より現職。東京大学公共政策大学院客員教授、一般社団法人国際高速鉄道協会(IHRA)理事長を兼務。



【来賓挨拶】

Naomichi Suzuki
鈴木 直道

北海道知事

1999年4月東京都庁入庁後、2008年1月夕張市へ派遣、2010年4月内閣府地域主権戦略室へ出向(夕張市行政参与)、2010年11月東京都庁退職。2011年4月~2019年2月夕張市長。2019年4月より北海道知事。2004年法政大学法学部卒。本籍は北海道夕張市。



【来賓挨拶】

Gota Otaka
大高 豪太

国土交通省北海道運輸局長

1989年東京大学農学部卒、運輸省(現:国土交通省)入省。国際観光振興会ニューヨーク観光宣伝事務所、観光庁国際観光政策課長、経済産業省大臣官房参事官(プロジェクトチーム・環境担当)、(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構総務部長、国土交通省総合政策局国際政策課長、軽自動車検査協会理事等を歴任し、2018年7月より現職。



【来賓挨拶・パネリスト】

Yoshihiro Sekihachi
堰八 義博

公益社団法人 北海道観光振興機構
会長

北海道出身。1979年法政大学経営学部卒、北海道銀行入行。同行経営企画部経営企画室長、代表取締役執行役員 企画管理担当などを歴任。2003年6月、全国最年少(当時)48歳で代表取締役頭取に就任。2004年9月株式会社ほくほくフィナンシャルグループ代表取締役副社長、2013年6月同社代表取締役会長に就任。2015年6月北海道銀行代表取締役会長(現職)に就任。札幌商工会議所議員6期、2013年11月札幌商工会議所さっぽろ成長戦略特別委員長に就任し、札幌市と連携しながら各種施策を推進。また2004年より15年間、北海道経済連合会副会長として活動(本年6月顧問就任)。2016年6月NHK経営委員会委員に就任(現在2期目)。2016年6月より公益社団法人 北海道観光振興機構会長として、観光資源の磨き上げや発掘、受入環境の整備など、2020年度北海道インバウンド500万人達成へ向けて、各業界団体と連携しながら、北海道観光の発展に注力。



【講師・パネリスト】

Masahito Namiki
並木 将仁

株式会社インターブランドジャパン
代表取締役社長 兼 CEO

戦略コンサルティングファームにて、企業戦略、事業戦略、ブランディング、マーケティング、デジタル、イノベーション、組織変革などにおけるコンサルティングを中心に、包括的に企業の成長を支援。
現在はInterbrand Japanの代表としてブランドを介した企業成長を支援。特に、ブランドと経営の融合をトップレベルで実現することによる、日本企業の飛躍的成長に注力。
ブランド戦略立案においては、KPI設計に基づくブランドと経営の融合、カスタマーインサイトに基づくブランド体験設計、事業戦略実現に向けたブランド効果最大化などにおいて経験多数。
プライスウォーターハウスクーパーズ、グローバルブラクシス、マッキンゼーアンドカンパニー、カートサーモンを経てインターブランドに参画。
ボストン大学経営学士号、HECおよびUTDT経営修士号



【講師・パネリスト】

Satomi Yamamoto
山本 さとみ

株式会社ダブルシックス・マーケティング
代表取締役
東京成徳大学非常勤講師

ウォルト・ディズニー・デスティネーションにてトラベル・インダストリー・マーケティング・マネジャーとして、カリフォルニアのディズニーランドとフロリダのウォルト・ディズニー・ワールド及びディズニー・クルーズラインの日本市場におけるマーケティングを行う。在職中、日本人訪問者最高数を達成。
その後、アラスカ州観光協会、フロリダ州オーランド観光局、グアム政府観光局の日本代表を務める。アラスカ州では、冬場のオーロラ観光や、日本とアラスカ間の新規航空路線の開拓により日本市場における新規デスティネーションとしてのブランディングに成功。全米最大訪問者数を誇るオーランド観光局では、ブランディングメッセージの開発に参画。
その他、リッツカールトン東京、ヒルトン東京ベイでも、マーケティングコミュニケーション部長として、ブランディング活動に従事。
青山学院大学大学院国際マネジメント研究科卒国際経営管理修士



【モデレーター】

Hiroataka Yamauchi
山内 弘隆

運輸総合研究所所長
一橋大学大学院経営管理研究科
特任教授

慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程修了。
中京大学商学部専任講師、経済学部専任講師、一橋大学大学院商学研究科教授、2006年~2010年まで一橋大学大学院商学研究科科長兼商学部部長を歴任。現在、運輸総合研究所所長兼一橋大学大学院経営管理研究科特任教授。
専門領域は、交通経済論、公共経済学、公益事業論、規制の経済学。
内閣府PFI推進委員会委員、国土交通省交通政策審議会委員、同社会資本整備審議会臨時委員、財務省財政制度等審議会委員等を歴任。
現在、資源エネルギー庁調達価格等算定委員会委員、同総合資源エネルギー調査会委員、総務省情報通信審議会委員、国土交通省交通政策審議会臨時委員、財政制度等審議会臨時委員、北海道内7空港優先交渉権者選定に係る審査委員会委員長等。



【閉会挨拶・主催者】

Yoshinobu Sato
佐藤 善信

一般財団法人 運輸総合研究所 理事長

1982年東京大学法学部卒、運輸省(現:国土交通省)入省。観光政策課長、空港部長、航空ネットワーク部長、航空局次長、観光庁次長、海上保安庁次長、航空局長等を歴任。2019年8月より現職。東京大学公共政策大学院客員教授を兼務。